

市議会だより



「いたずらっこ♡」
絵画 泉 カンナ(ペンネーム)

令和4年3月定例月議会

あんない

3月定例月議会	P2~P3
討論(議案等に対する意見)	P4~P7
一般質問(代表5名)	P8~P9
一般質問(個人6名)	P10~P11
議会だより表紙のご応募へのお礼	P12

表紙写真・絵画募集中!

次回の締切は6月13日(月)です。

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

3月定例会月議会

3月定例会月議会は、2月24日から3月23日までの28日間にわたり開催し、議案38件、請願1件などを審議しました。

人事案件

（敬称略）

◎固定資産評価審査委員会の委員の選任

任期満了（3月23日）に伴い、次の方の再任に同意しました。

栗谷達也（任期は3年）
（日進市）

請願

◎「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適

切な措置を講じるための請願
令和4年3月23日
採択

意見書（一部省略）

3月定例会月議会最終日の3月23日に意見書案件について審議し、可決しました。

◎「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を求める意見書

人生百年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現を求められている中、些少な配分金よりも社会参加・健康増進に重きをおいた「生きがいくりのための就業」をしているセンター会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのま

ま適用することは、地域社会に貢献しようとする高齢者のやる気や生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力の低下をもたらすことも懸念される。センターにとっては、新たな税負担はまさにセンター存続の危機となる。よって、当市議会は国に対し、消費税制度においては、小規模事業者への配慮から、年間課税売上高が一千万円以下の事業者は、消費税納税義務が免除されていることやインボイス制度においても一部の事業者に対しては、特例制度が設けられていることを鑑み、少額の収入しかないセンター会員の配分金が今以上に減少することなく、センターにおいても安定的な事業運営が可能となるよう適切な措置を講じられるよう要望する。

意見書提出先
内閣総理大臣他3大臣、
衆参議院議長

3月定例会月議会議案等の審議結果

議案等の賛否 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

Table with columns for 議案等番号, 会派名, 議員名, and various council members (清和, 市民派の会, 未来クラブ, 真明, 公明党, etc.). Rows include 議案 1 through 議案 11.

議案等の賛否 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

Large table with columns for 議案等番号, 会派名, 議員名, and various council members (清和, 市民派の会, 未来クラブ, 真明, 公明党, etc.). Rows include 議案 1 through 議案 38 and 報告 1 through 3, and 意見書 1, and 請願 1.

※ 請願1は採択について採決した結果であり、×の議員は趣旨採択又は不採択の意思表示はしていません。



議案等に対する

討論

3月定例会議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。
(文責は各会派にあります。)

◆ 清和 ◆

令和4年度当初予算及び請願について賛成

令和4年度予算の歳出全般は、将来と現在を、ともに意識した予算編成となりました。このことは、本市がいち早くSDGsの普及強化に取り組み、「かつつ」に暮らせるしあわせの実現と「誰一人取り残さない」ことを軸として対策を進めてきたことの現れとなっています。

その柱となるのが、生活困窮者や障がい、子育てなど複合的な問題を抱える世帯を包括的・横断的に支える「重層的支援体制」の構築です。また、子どもたちの教育環境整備として、全小中学校で「少人数学級」を実施するため、市費負担職員を増員することは、誰一人取り残すことなく

将来を担う全ての子どもたちへの投資です。

そして、まちづくり事業では、図書館栄分室の閉鎖に伴う南部公民館図書機能拡充等整備工事や区長要望工事である道路新設改良舗装工事費の増額による地域の環境整備などです。

この他にも、持続可能なまちづくり事業が数々盛り込まれた、「住みやすさ」を求めた当初予算ですが、オミクロン株の感染再拡大の懸念や社会経済の不透明感から、予算執行は優先順位の吟味をお願いします。

ほかに、シルバー人材センターに及ぼす影響が大きい「インボイス制度」の適切な措置を求める請願に賛成しました。

◆ 市民派の会 ◆

災害対策も先送り、困窮者支援策も欠如。危機感がなく、無責任な予算には反対。

● 一般会計

困窮や子育てなど、重層的支援の市費負担はわずかで期待外れであった。
【歳入】これまで不要な借金（臨財債）を毎年満額で借り続けており、抑制すべきと指摘してきたが、国の方針転換により、基金や市税収入での穴埋めとなっている。

【歳出】公園・墓園や駐輪場、共生交流プラザなど、民間依存強化により、市民サービスの劣化を招き、無責任である。地球温暖化対策も、ごみ削減程度で、緊張感がない。災害への危機感もなく、水害対策も先送り、耐震補助の予算も少額。コロナの影響に対する困窮者支援も少なく、安全性が確認できていない子宮頸

がんワクチンの推奨など、容認できない予算が多いため、反対。

● 特別会計・企業会計

【国保】高齢者や非正規など経済的に厳しい加入者が多く、寄り添うことができておらず、弱者に鞭打つような負担増。

【墓園】指定管理化や、市外へ永代使用許可をし、なお赤字補填。

【有料駐輪場】収益性の高い施設を損益計算もせず、民間の駐輪場に明け渡す。

【下水道】農村集落家庭排水と勅使台が公共下水道に接続されたが、市街化区域と調整区域の不公平感が増すような予算。

これら特別会計と企業会計に反対し、その他は賛成。

◆ 未来クラブ ◆

令和4年度当初予算 賛成 30歳代・40歳代の人口が流出し続けている

本市は本年8月1日に市制50周年の節目を迎え、次の100周年に向けた始まりの年となる。本市の将来を担っていく次世代の方々が、夢と希望を持つことのできるまちづくりと、持続可能な財政運営が求められる。

しかし、本市は医療体制、公共交通・道路交通ともに優れた利便性があるにもかかわらず、30歳代・40歳代の人口が近隣自治体へ流出し続けている。近隣自治体の人口は増えているが豊明市は取り残されている。

30歳代・40歳代の人口流出は100年先の豊明市を見据えた場合、重大な課題と認識している。流出する要因の1つは、本市は市街化区域が狭く、

30歳代・40歳代に適した土地が少ないこと。令和4年度予算で市街地開発事業等として約2億4800万円が計上され、寺池・間米南部地区では土地画整理事業が動き出し、おり高く評価する。しかし、まだまだ本市の市街化区域は狭すぎる。さらなる開発を要望する。

さらに、30歳代・40歳代が流出する要因がもう1つあるのではないかと。令和4年度予算においても30歳代・40歳代に向けた事業は数々あるが、それらの事業は他の自治体との競争に勝てるか。横並びではないか。100年先を見据え、30歳代・40歳代の人口流出阻止も上位目標とする事業戦略の構築を要望する。

◆ 眞明 ◆

令和4年度新年度予算に賛成 チョイソコとよあけ、駅前駐輪場・防犯カメラ等に賛成

一般会計が227億3500万円となり、過去最大の予算となった。歳入は景気回復を見込み増額しているが、繰入金が増額している、苦しい台所事情が垣間見える。

● チョイソコとよあけは、全国に先駆けた事業で、本格運用も始まる。

● 市独自の生活困窮者緊急生活支援事業まごころサポート便は、コープあいちや、社会福祉協議会の理解・協力があってこそその事業である。

● 重層的支援体制整備事業では、ひきこもりや困窮対策、就労支援等を行う包括的就労支援が始まる。児童発達支援センター、子育て支援センターの充実も喜ばれている。
● 子宮頸がんワクチンの

積極的勧奨を再開する。

● 前後駅前広場デッキ整備工事の設計。市内3駅周辺の駐輪場整備、防犯カメラの設置は、安全なまちづくりに役立つ。

● 区長要望工事について、要望していた予算増額を取り入れていただいた。

● 全小中学校での少人数学級導入のため、市単独で雇われる職員の人件費等の負担は評価する。

● 国民健康保険特別会計において、加入者の重症化予防対策に取り組んでいる。

● コロナ再拡大や、ロシア・ウクライナの戦争の悪影響が出た場合、速やかに補正予算で対応していた、たくことを要望して賛成とする。

◆公明党◆

議案第1号より議案第9号 令和4年度豊明市予算に賛成

令和4年度もコロナ禍にあり、影響は続く状況でありますが、本市の施政方針の軸は変えることなく、より一層市民の皆様への継続的な支援強化をするべく過去最大の当初予算となっていると理解します。

歳入においては、経済の回復を見込み、個人市民税については前年度比10%増、固定資産税については前年度比4・2%増、軽自動車税については前年度比5・8%増、繰入金も増加とされております。

歳出においては、義務的経費の件費は、少人数学級実施に伴っての増加、扶助費の伸びについては、必要なものと理解します。投資的経費の保

育園改修、南部公民館リニューアル事業は、安心・安全を守り施設機能の充実が図られるものと理解します。

特別会計と企業会計においては、市民の皆様のために持続可能な適切な維持管理を進めていただくものと判断します。

令和4年度予算については、歳入の増加が見込まれていますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況や、世界情勢も不安定で、今後の日本経済への影響は予測がつきません。事業の執行につきましては、市民の皆様のご理解とご協力をいただき、今後とも健全な予算執行を望みます。

◆ひまわり◆

「ふつうに暮らせるしあわせ」と「誰一人取り残さない」を念頭に計画された令和4年度予算案に賛成

賛成討論より、（抜粋）
▼前後駅前南部公民館図書室トイレの洋式化にオストメイト対応を望む。
▼共生交流プラザは当初より居心地のよさを感じてもらえる工夫を！
▼重層的支援体制整備事業は、課題を抱える世帯に係る部署が横断的に支援し、社会福祉協議会と地域づくりに取り組むことに期待。また、交付金の有効活用を！
▼勅使墓園の維持管理を

指定管理者の包括管理にすることで持続可能なものになることに期待。
▼水上太陽光発電事業の安定経営と収益性の両立を評価する。
▼下水道事業で勅使台地区が公共下水道に接続され、住民の不安が解消されたことを評価する。
▼歳入はコロナ禍の影響が心配されたが増額されたことに安堵した。今後とも健全な予算執行を望む。



◆日本共産党◆

令和4年度豊明市一般会計予算に反対

ワクチン開発分野の産業育成をしておこなったこと、積極的検査と陽性者・濃厚接触者の隔離、保護が大きく遅れたままなこと、感染拡大を繰り返し、病床不足が起きながら病院の統廃合と病床

削減計画を改めないこと等、政治の誤りが日本の国民の暮らしを苦しめるにしている。豊明市の予算はその反対に市民の暮らしをよくしていくものにしてほしい。
令和4年度豊明市一般

◆たんぼぼ◆

当初予算（一般会計・国保・後期高齢者の3議案）に反対

◆建築土木の設計・工事競争性が発揮される仕組みづくりに後ろ向き。
一括発注で経費削減が見込めても複数ある同様の工事や設計、また園舎解体の測量と設計を個別に発注する経営感覚に疑問。

◆弱腰な地球温暖化対策
長期的に目標値を設定せず施策を講じても、場当たりのになる。施政方針でカーボンゼロについての言及が一切ない。
◆未来志向が見えない区画整理 まちの魅力や水

会計予算には駅周辺の駐輪場再整備、小学校全体で35人以下の少人数学級化、小中学校の生理用品の配備、幼保と学童保育指導員の待遇改善等の前進面があるが、尾三地区滞納整理機構の運用、公園・墓園管理や新給食センター計画で事業の民営化が進む。国保税も引き上げとなる等、改めるべき点があるので反対。

害対策、温暖化対策なども弱いと感じる。
◆問われる学校教育の課題と狙い
少人数学級を進めることは評価する。しかし『仏作って魂入れず』という言葉があるように、今の学校教育の本質的な課題と狙いが予算の中では明確に見えてこない。
※特別会計は、国保と後期高齢者医療に反対。

このような行為は法律によって禁止されています。

政治家や候補者に地元のスポンサー大会への差し入れを求めたり、政治家や候補者が開店祝の花輪や祝金などを選挙区の人に贈ったりすることはルール違反です。

贈らない



親睦旅行への差し入れ

各種大会への差し入れ



ゴルフコンペなどの賞品

求めない

集会の飲食代



祭りの寄附やお酒



開店祝などの花輪や祝金



受けとらない

ちょっとした、おみやげ



お中元やお歳暮



結婚・出産・入学・卒業・就職の祝金

議会日誌

- 1月 21日 全員協議会 会派会議
- 2月 4日 会派会議
- 9日 東部知多衛生組合議会 定例会
- 10日 議会運営委員会 当初予算説明会
- 14日 全員協議会 会派会議
- 18日 議会運営委員会 議会
- 24日～3月23日 3月定例会 議会
- 3月 3日 愛知中部水道企業団議会 定例会
- 7日 議会だより編集委員会 議会運営委員会
- 23日 全員協議会
- 28日 尾三消防組合議会定例会
- 30日 愛知県競馬組合議会定例会
- 4月 12日 議会だより編集委員会
- 18日 議会だより編集委員会



未来クラブ 宮本 英彦 議員

本市の問題点 人口が増えない 近隣自治体から取り残されている その理由 本市は市街化区域の面積が極端に小さく住宅用地がない



<質問の趣旨>

人口の増加に向け寺池地区と間米南部地区で土地区画整理事業が進められているが、区画整理事業が終了した阿野平地地区には1軒しか家が建っていない。ここには市税1億8千万円を投入している。対策はないのか。

<答弁>

保留地は隣接する企業の寮が建築され、既に有効活用されている。市の補助金で調整池、公園、道路も整備した。それ以外の土地は土地所有者の考えによるものとなり、市でその権利の制限を設けることは難しい。

<コメント>

もう一つの問題点。本市は30歳代・40歳代が世帯ごと他市町へ流出し続けています。この二つを解決しなければ本市の財政基盤は縮小、持続可能なまちづくりは赤信号です。



真明 いたう ひろし 議員

令和4年度施政方針と豊明市当初予算 について



<質問の趣旨>

現在、飲食業に限らず様々な商売において、生活に困っている市民の方が増えてきております。令和2年度に実施した、市民全体を対象としたクーポン券事業を再度実施するような予定やお考えはありませんか。

<答弁>

前回実施したクーポン券事業は利用率も高く、生活支援と市内店舗への営業支援を一定程度行えたと認識している。コロナの感染拡大が今後どのように変わっていくかは分からないが、必要に応じて実施は検討していきたい。

<コメント>

市民の声に基づき、会派の要望事項が多数取り入れられた予算となっていることが確認できました。今後も市民と協働しながら安心・安全なまちづくりに取り組んでいきます。



公明党 近藤 千鶴 議員

令和4年度 施政方針・新年度予算・ 予算要望について



<質問の趣旨>

市政運営の考え方・予算編成の考え方について。新型コロナウイルス対策をどのように進めるのか、小中学校の教育環境の向上についての取り組み、本市の重層的支援体制の取り組みについてお伺いいたします。

<答弁>

重要な責務を負っているのはワクチン接種。現在と将来を見据えて普通に暮らせる幸せを実感できるよう予算編成した。35人学級を全小学校全学年に拡大。重層的支援は社協との両輪体制で、関連分野で一層連携を進める。

<コメント>

コロナ対策支援は、市民の皆さんに今一番必要な支援を考え推進していただきたい。市内小学校全学年35人学級実施は、様々な問題が最小限で解決していくと期待しています。



新年度の予算を中心に各会派を代表して5名の議員が、また、行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について6名の議員が質問に立ちました。その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。
詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。



清和 毛受 明宏 議員

令和4年度豊明市当初予算について



<質問の趣旨>

令和4年度は豊明市が市制50周年を迎える年に当たります。市として各周年事業の予定と、次の50年へ向けた市の取り組みをお聞かせください。また、3年目となる新型コロナ禍での市の事業の進め方は。

<答弁>

式典は行わず、広く市民の皆様が参加して次につながる事業を展開して、誰一人取り残さない活動をさらに深めていく。現状のコロナ禍でもできることは実施し、困難と判断したものは次年度以降に順次実施していく予定。

<コメント>

ほかにビッグプロジェクトや区長要望工事、教育環境整備など質問しました。市長のフットワークの俊敏さを生かし、今後も誰一人取り残さない豊明の市政運営をお願いしたい。



市民派の会 ごとう 学 議員

地球温暖化防止に豊明市はどう取り組むか



<質問の趣旨>

地球温暖化の影響で、国外では海面上昇や砂漠化、国内では豪雨やスーパー台風などの影響が出ている。国は、2030年46%のCO2削減を国際公約したが、豊明市はこれからどうするのか。

<答弁>

豊明市のCO2排出は、自動車や電化製品の積み上げと考える。削減には、再生可能エネルギーの普及とかごみの減量とか、やれることはすべてやっていかなければならないと考えている。

<コメント>

過去の答弁では、CO2ゼロ宣言はしない、46%削減への実行計画も作らないとしてごみ20%削減だけを強調。しかし、それで減るCO2は1.5%のみ。有効な政策が必要だ。



郷右近 修 議員

気候危機を打開する取り組みについて



<質問の趣旨>

地球温暖化の原因とされるCO₂の排出低減を自治体でも実行しなければならない。ひまわりバスに電動バスを導入した場合のCO₂削減効果の試算や、インフラ整備の課題についてどう考えているか。

<答弁>

試算はしていないが、令和4年度からの事業者を選定する際に電動バス導入について確認をした。充電設備の整備などが課題になるが、事業者から提案させてほしいと申し出もあるのでしっかり研究していきたい。

<コメント>

上記以外に燃えるごみの削減（水分を減らす）、施設の省エネルギー化等でCO₂を削減できる。地道な努力の積み重ねで気候危機を解決する先頭に立ってほしい。



堀内 ちほ 議員

新型コロナウイルス（マスク着用）について



<質問の趣旨>

2月、全国知事会から2歳以上の子どもへのマスク着用の意見があったが、6歳以下の未就学児へのリスクを考慮し、厚労省は「可能な範囲で一時的に着用を推奨する」方針とした。本市での未就学児のマスク着用状況は。

<答弁>

WHOは5歳以下の着用は必ずしも必要でないとしています。本市は国の通達に従い3歳児以上には「可能な範囲で」着用を推奨していますが、子どもの表情が見えない、鼻水・よだれ等の衛生面に保育士は苦慮しています。

<コメント>

マスク着用には賛否あります。子どもの命を守るためにも「マスク着用の大切さ」については、ご家庭においても、保護者の方からお子さまへお話しただけを願います。



近藤 郁子 議員

女性の活躍 ～有事の際に必要な女性の力～



<質問の趣旨>

災害時の被災者支援についての講演で、発災後の避難所生活には女性の力が大きな役割を持つことを改めて聞いた。平時のつながりを有事に生かすため、女性の地域参加の促進や、ネットワークの強化の必要があるのでは？

<答弁>

避難所で最初に問題になるのは食料ではなくトイレで、そこには女性の力が必要。もともとつながりのある者同士である女性団体がまた別の女性団体とつながれば、広がりが生じる。今後に向けてもその支援をしたい。

<コメント>

有事の際に女性ならではの役割を発揮するためには、日頃からのつながりは不可欠。市には多くの女性団体がつながりを持つためのきっかけづくりをお願いしたい。



ごとう 学 議員

「誰ひとり取り残さない」行政はできているか



<質問の趣旨>

市は、誰ひとり取り残さない、と盛んに言うが、取り残さない基準は何か。また、一昨年、学生に国の修学支援新制度ができたが、例えば年収300～380万円の低所得4人世帯で奨学金は38万円。これで足りると思うか。

<答弁>

国が引いている生活保護の基準を参考にしながら、最も必要な方に寄り添っている。ラインを次々引くときりがないので、国の制度を使いきれない方がないようにするのが基礎自治体の役割と思っている。

<コメント>

市長から「現場の声を聞いたか」と反問を受けた。市こそ調査をしたのか質すと「窓口」できめ細かく対応、との答弁。「待ち」の姿勢で、誰ひとり取り残さない支援が可能か。



ふじえ 真理子 議員

【安心して暮らせる生活環境/緑地保全】と【再エネ推進】との調和のとれた太陽光発電設備設置に関する条例制定を



<質問の趣旨>

本市は太陽光発電設備設置（屋上設置を除く）のガイドラインもなく野放し状態。50年先も緑豊かな住宅都市をめざすため、再エネ推進と、生活環境・CO₂を吸収する緑の保全との調和を図っていく条例が必要ではないか。

<答弁>

『調和』をとる必要はある。民地活用は土地所有者が決めることだが、公共に影響のある場合は規制をかけないといけないのが自治体の責務と考えている。バランスを考えながら、今後十分に検討してまいりたい。

<コメント>

希望者は誰もが利用できる『終活登録制度』導入についても質問提案しました。お亡くなりになった方の人権まで尊重し、生前のご意思を確実に実現できる手立てを求めました。



林 ゆきひろ 議員

民間活用について



<質問の趣旨>

民間活用がかなり進んできているが、どの事業を民営化するかは、豊明の将来に大きくかわると考えている。改めて、目的を再確認し、効果検証をしながら、公営化も含め、今後の方向性について、質問した。

<答弁>

行政の役割が福祉部門で多くなり過ぎている。現状は民営化を進めている段階であり、公営化は検討していないが、公営化した自治体もあるので、そういったことも意識しながら、調査研究して今後につなげていきたい。

<コメント>

民間活用に対する効果検証やリスクヘッジが不十分であると感じた。市職員の育成や市民協働を進めるといったことを優先し、公営化も含めて慎重に検討してほしい。

表紙写真・絵画へご応募いただき ありがとうございます

市議会だよりでは、皆さんの応募された作品の中から、議会だより編集委員会で選考し、表紙に掲載しています。

紙面の都合上、すべての作品を表紙に掲載できませんでしたが、どれも素晴らしい作品でした。

感謝の気持ちをこめて、今までに応募された皆さんの作品の一部を紹介いたします。

引き続き、写真・絵画・イラストの募集をします。

なお、市議会だより8月号から作品を表紙全面に掲載するリニューアルを予定しており、

その関係で今後は表紙作品に題字やとじ穴等がかぶることとなります。

また、トリミング等を行う場合もありますので、ご了承の上、ご応募いただきますようお願い申し上げます。



議会の開催日程(予定)

5月開会議会

5月13日(金) 開会議会

6月定例月議会

6月 3日(金) 本会議(議案上程・提案説明)

6月 7日(火) 本会議(一般質問)

6月 8日(水) 本会議(一般質問)

6月 9日(木) 本会議(一般質問)

6月10日(金) 本会議(一般質問)

6月14日(火) 本会議(議案質疑・委員会付託)

6月15日(水) 総務委員会

6月16日(木) 健康福祉委員会

6月17日(金) 建設文教委員会

6月24日(金) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。
上記は予定のため、変更される場合があります。
詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
電話 0562-92-1121

※ 次回の議会だよりの発行は6月1日です。